

運転席ドアスイッチ配線を行う場合

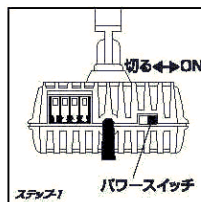
ドアスイッチへの配線を行うことにより、リモコン始動でのアイドリング中に、ドアを開けるとエンジンを停止させることが出来ます。

ステップ

1

アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

すでに付属の安全センサーケーブルがエンジンスターター本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。



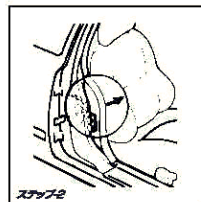
ステップ

2

車の運転席側ドアスイッチ線を探します。

ドアを開けたときはOV、閉めたときに12Vとなる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)

メモ 半ドア警告灯および、ルームランプの点灯をさせるためのスイッチです。



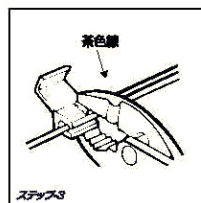
ステップ

3

安全センサーケーブルの茶色線を接続します。

安全センサーケーブルの茶色線先端のギボシ端子部をニッパ等でカットし、ステップ2で見つけた線に接続します。(付属のエレクトロタップ使用。)

注意 接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。ドアスイッチ線出がうまく行けない場合があります。なお、エレクトロタップ部は、防水のためテーピングをして下さい。



ステップ

4

安全センサーケーブルをエンジンスターター本体のコネクター部(CN2)に接続します。

以上でドアスイッチ配線は終了です。

アンテナユニットのパワースイッチをONにしてリモコンでエンジンを始動させ、ドアを開けたときにエンジンが停止することを確認して下さい。

メモ 残光式ルームランプ付車では、ドアを開けてルームランプが完全に消えてから数秒後にリモコン始動を行って下さい。

